

第29回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第29回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、検討テーマを「2030年度におけるエネルギー需給の見通しを踏まえた今後の地方の取組」、サブテーマを「エネルギーを無駄なく最大限効率的に利用する取組について」として、議論を行いました。
- 今回の研究会では、最初に、経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課の登坂総括係長から、「今後のエネルギー需要側の政策について」と題して、御講演をいただきました。

講演では、エネルギー需要側の政策に関する国内外の動向、改正省エネ法の概要、省エネ支援策や今後のエネルギー需要側の政策などについて、御教授いただきました。

今後の地方の取組を考える上でも、貴重な情報を御提供いただけたと、感謝しております。
- 次に、公益財団法人地球環境産業技術研究機構システム研究グループの秋元グループリーダー・主席研究員から、「需要側から考えるカーボンニュートラルの実現に向けたアクションプラン」と題して、御講演をいただきました。

講演では、カーボンニュートラルに向けた課題や課題解決に向けた需要側の対策をお示しいただくなど、大変有益なお話をいただきました。
- 次に、西部ガス株式会社の木下委員から、「トランジション期における西部ガスグループの取り組みについて」と題して、西部ガスグループにおけるカーボンニュートラル実現に向けた取組について、情報提供していただきました。
- 次に、これらの講演・報告を基に、地域におけるエネルギーの効率的な利用に係る取組について委員間で討議を行いました。
- 各委員からの積極的な意見・助言により、「2030年度におけるエネルギー需給の見通しを踏まえた今後の地方の取組」として、地域におけるエネルギーの効率的な利用に係る取組の方向性が示されましたので、県をはじめ各主体におかれては、今後の取組に活かしていただきたいと思いますと考えております。